

2024-25年度のための地区研修・協議会

第2部 部門別協議会

ロータリー財団部門

日 時 : 2024年4月20日 (土) 15:30~17:00

会 場 : 大阪国際会議場 12階 1202号室

司 会 : 地区ロータリー財団委員会委員 國次孝平
(敬称略)

次 第

1	挨拶 日本ロータリー財団の現況について	公益財団法人ロータリー日本財団 理事 パストガバナー	立野 純三
2	ロータリー財団と補助金について	財団委員会 次年度委員長	新堂 博
3	ポリオ根絶について	ポリオ・プラス小委員会 委員長	川上 克己
4	財団寄付と認証について	資金推進小委員会 次年度委員長	川上 哲司
5	財団補助金の管理について	資金管理小委員会 次年度委員長	西垣 浩
6	財団奨学金制度について	奨学金小委員会 次年度委員長	渡邊 徹
7	閉会		

◆ 配布資料一覧 ◆

- ロータリー財団と補助金について 資料①
- ポリオ根絶について 資料②
- 財団寄付と認証について 資料③
- 財団補助金の管理について 資料④
- 財団奨学金制度について 資料⑤

RID2660 ロータリー財団委員会の活動方針	
5つの小委員会	活動方針
ポリオ・プラス	ポリオ根絶について理解と協力を得られるよう啓発活動を行う
資金推進	補助金の原資となる寄付金への理解と協力を得られるように活動を行う
資金管理	補助金の適正活用に必要な情報を提供し、適正な補助金活用の管理を行う
補助金	ロータリー財団の方針に基づきDDF（地区財団活動資金）の活用を推進し補助金の公平な配分を行う
奨学金	地区財団奨学生事業の広報を行い募集選考から留学籍了まで奨学生のフォローを行う



- ### 是非とも知っておいて頂きたい「本日のポイント」
- ① ロータリー財団委員会の活動方針と「定義」と「使命」
 - ② RID2660ロータリー財団補助金「重点施策」
 - ③ RID2660中期3ヶ年目標と年次目標
 - ④ ロータリー財団補助金の原資（シェアシステム）
 - ⑤ ロータリー財団「補助金の種類」
 - ⑥ 地区補助金利用「スケジュール」
 - ⑦ RACのための財団補助金「活用情報」
 - ⑧ RID2660地区財団委員会「活動と役割」





Rotary
District 2660

2024-25年度のための
地区研修・協議会【ロータリー財団部門】

「ロータリー財団と補助金について」

RID2660 2024-25年度
地区財団委員会委員長
新堂博／大阪城北RC


2024年4月20日

- ### 地区中期3ヶ年目標（2022-23～2024-25）と年次目標
- 地域調査に基づいた持続可能なインパクトをもたらす奉仕の強化
年次目標：財団補助金活動を増やす
年次基金寄付 \$150/会員
 - ポリオ根絶のためにアドボカシー活動とファンドレイジングの推進
年次目標：世界ポリオデーに活動する
ポリオ・プラス寄付 \$50/会員
 - ロータリーの活動を未永く支えるための基金寄付の推進
年次目標：**恒久基金寄付 \$30/会員**



- ### RID2660 ロータリー財団補助金利用の重点施策
- 2024-25年度（大橋ガバナ一年度）
財団補助金利用の重点施策**
1. 能登半島地震への支援
被災地の1日でも早い復旧に向けた支援活動を推進
 2. 平和構築への支援
平和フェロー、グローバル奨学生の積極的な推薦
 3. RACによる地区補助金活用の支援
ポリオチャリティイベントの寄付により、地区内すべてのクラブが寄付達成クラブ





**ROTARIAN
AT WORK**
Leading Above All

ロータリー財団の定義
ロータリー財団は、ロータリークラブおよび地区を通じて実施され承認された人道的教育活動を支援するための寄付を受け資金を配分する非営利団体である。

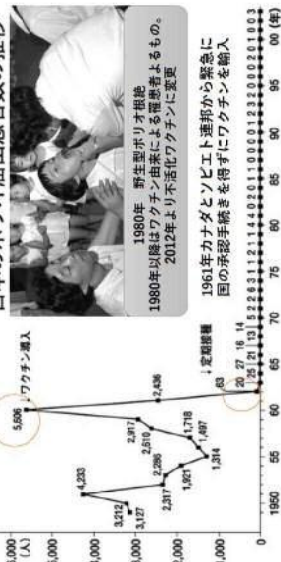
ロータリー財団の使命
ロータリー財団および国際ロータリーの使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できる様支援することである。

**ロータリアンが積極的に参加する事
（ロータリアンが汗を流す活動であること）**



かつて日本でもポリオ大流行

日本のポリオ届出患者数の推移



古井兼孝厚生大臣は「責任はすべて私にある」と述べ、薬事法を助えて超法規的措置をとり輸入に踏み切った。

講話「ポリオを知り行動しよう」尾身 茂 公益財団法人結核予防会理事長

2023年11月21日 第52回ロータリー研究会



GPEI (世界ポリオ根絶推進活動)

アメリカ疾病管理予防センター

Bill & Melinda Gates Foundation

Rotary

World Health Organization 世界保健機関

CDC

Gavi

unicef

こどもの予防接種プログラム
ヒル&メリンダゲイツ財団が設立

My Rotaryを活用しよう!

Shindo Hiroshiさん、こんにちは

My Rotary

寄付者専用レポート

氏名: 山本 浩志 (Shindo Hiroshi)

住所: 東京都中央区

登録日: 2023年11月21日

寄付金額: 100,000円

寄付回数: 10回

寄付先: 結核予防会

寄付内容: 結核予防会の活動に貢献するため

寄付日: 2023年11月21日

寄付金額: 100,000円

寄付回数: 10回

寄付先: 結核予防会

寄付内容: 結核予防会の活動に貢献するため

寄付日: 2023年11月21日

寄付金額: 100,000円

寄付回数: 10回

寄付先: 結核予防会

寄付内容: 結核予防会の活動に貢献するため

寄付日: 2023年11月21日

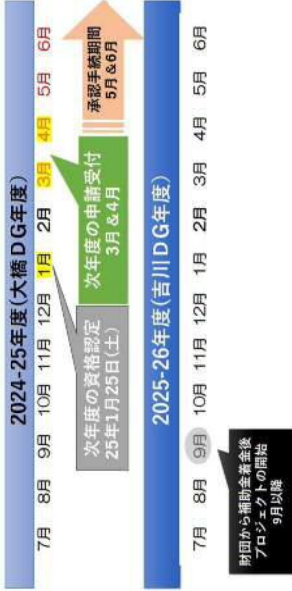
寄付者履歴レポート

入会～現在に至るまで日付ごとに表示

日付	タイプ	氏名	住所	金額	回数	合計
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円
2023年11月21日	寄付	山本 浩志	東京都中央区	100,000円	10回	1,000,000円

地区補助金の申請スケジュール

地区補助金 = 2年度制の補助金 (計画年度・実行年度)



RACのためのロータリー財団補助金の活用情報



> 2023-24年度以降ロータリークラブの申請要件と同様に前年度寄付実績が申請要件となります。今年度中にクラブ又は個人からの寄付合計額が100%に達したクラブ贈られる「ロータリー寄付達成証」が必要になります

> ロータリー会員は財団補助金の恩恵を受けることは、認められていませんがロータリーアクトは例外として財団奨学金 (グローバル奨学生、平和フェロー) の受給権利が認められます。RACの友人・知人の応募も可能です

RACのための地区補助金申請要件(DG)



地区補助金配分額

活動の種類	プロジェクト総額	クラブ負担額	地区補助金
社会奉仕活動	20万円以上	地区補助金申請額の10%以上	18万円~30万円

RACのためのグローバル補助金申請要件(GG)

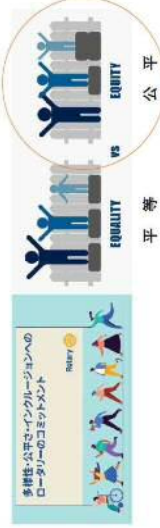


グローバル補助金申請要件と地区財団活動資金 (DDF) 配分額 (2022年7月から申請可能)

提唱者	* 実施国または援助国の代表提唱者のいずれかは、ロータリークラブまたは地区であること。 * 提唱RACは、過去ロータリークラブのグローバル補助金活動に協力した経験があること。		
活動	人道的国際奉仕活動		
プロジェクト総額	30,000ドル以上	財団要件	
DDF申請額	17,000ドル以下	地区要件	
RAC拠出金 (代表提唱クラブ)	400ドル以上		

「公平 Equity」と「平等 Equality」

国際ロータリーのコミットメントとしてDEI: Diversity, Equity and Inclusionを発出、その意味合いを広報しています。特に、「公平 Equity」は決して「平等 Equality」ではなく、奉仕を提供される方はかりでではなく、提供する側も「状況にあった」「身の丈に合った」という考え方を強調しています。



ロータリーが目指すべきは平等ではなく公平であることをご理解ください。

RID2660 地区財団委員会の活動と役割

- > 年次寄付目標の達成と全クラブの参加 (ゼロクラブをゼロに) 「年次基金寄付」「ポリオ基金寄付」「恒久基金寄付」
- > ポリオ根絶への理解を深めるための活動
- > 財団補助金活用推進と適正な補助金管理のためのクラブサポート
- > RACの財団補助金活用とロータリー財団活動への理解と啓発
- > 財団グローバル奨学生事業について理解と啓発





ご清聴ありがとうございました

ロータリー財団へのご理解とご協力をお願い申し上げます




【ロータリーとポリオ】
ロータリーの最優先項目
 ・ポリオとは？
 ・ポリオを根絶する理由
 ・ポリオ根絶の為にやるべき事



2024年4月20日（土）
 地区ロータリー財団委員会
 大阪中央ロータリークラブ 川上克己




ポリオとは？





麻痺を来した
 子供たち




ポリオ根絶

ポリオ根絶は『**ロータリーの最優先課題**』であり、
 『世界中の子ども達へのロータリーの**約束**』です

ポリオ根絶



ロータリー章典（2019年1月）
 40.040.01. 新しいRIプロジェクト
ポリオプラスプログラムが成功裏に終了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない
 （2017年1月理事会会合、決定87号）。

2020年11月および12月 国際ロータリー理事会 議事録
私たちの最優先課題としてのポリオ根絶に対するロータリーの約束を再確認し、さらにポリオ根絶がロータリーの唯一の組織のプロジェクトであることを再確認する。




ポリオとは？

- ◆ **ポリオ根絶のための基礎知識**
- * ポリオは人間だけが感染するウイルスによる疾患
- * 常在国は2カ国だけがワクチン投与は根絶が確認されるまで世界中で継続される
- * 最後の患者が発生して3年間新たな発症がなければ世界保健機関（WHO）から根絶と認定される
- * 現在は安価な生ワクチンを使用しているが、最終的には高価な不活化ワクチンを使うようになる

ポリオは根絶できるのか？

- 予防法がある以上根絶は可能!!!
 そして・・・まだまだ多くの資金が必要
- ・非常在国（根絶された地域）においても再発症を防ぐため大規模な予防接種・監視（サーベイランス）の継続が必要
 - ・そのための従事者（ポリオワーカー）、交通手段、研修、ワクチン・・・
 - ・不活化ワクチンの必要性



ポリオを根絶する理由

歴史をつくる

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。



ポリオ根絶のためにやるべきこと

◆ポリオ根絶のためにやるべきこと

- I. 認識の向上
- II. 情報を発信
- III. イベントを実施
- IV. 政府へのはたらきかけ
- V. 寄付



最後に・・・



人類と感染症との闘いのためポリオ・プラスプログラムのレガシーを！

ポリオに **\$50** の寄付をお願いします！
 — ポリオ寄付「ゼロ」クラブを「ゼロ」に！ —



「ポリオプラス・ソサエティ：The PolioPlus Society (PPS)」プログラムのご案内

新プログラムのご案内

ポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくために世界のロータリー会員の皆様に表記のソサエティのご紹介をさせて載せ、多くの方々にご参加をお願いするものです。

毎年100ドルをロータリー財団の「ポリオプラス」への寄付をお約束いただけるロータリー会員に登録していただき登録証とソサエティメンバーのピンバッジを受取っていただくものです。

なお、このご寄付につきましてもゲイツ財団より2倍の上乗せがございます。

財団寄付と認証

地区ロータリー財団 資金推進小委員会
委員長 川上 哲司/大阪天王寺RC

本日、皆様にお伝えしたいこと！

1. 財団寄付の地区目標について
2. 財団寄付の認証について
3. 財団寄付の方法と優遇措置について
4. ロータリー・クレジットカードについて
5. 本日のまとめ



1. 財団寄付の地区目標

寄付の分類

年次基金寄付 \rightarrow 150ドル以上/会員一人あたり

ポリオプラス基金寄付 \rightarrow 50ドル以上/会員一人あたり

恒久基金寄付 \rightarrow 30ドル以上/会員一人あたり



1. 財団寄付の地区目標

寄付	概要
年次基金寄付	3年間運用された後、国際財団活動資金と地区財団活動資金に等分され、クラブが実施する地元や海外における奉仕活動を支える主な資金源です
ポリオプラス基金寄付	全ての子どもにポリオ予防接種を行うために生かされ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から2倍の上乗せの対象となります
恒久基金寄付	基金は投資され元本は支出されることなく、利用可能な収益の一部が財団プログラムを恒久的に支えます
ロータリー災害救援基金	クラブや地区による災害救援活動や復興活動に生かされます



1. 財団寄付の地区目標

【クラブ寄付金額に基づき補助金額】（注）ポリオと恒久基金への寄付は含まれません！
当地区と日本の年次基金寄付目標額は、一人当たり150ドルです。

前年度年次基金寄付実績	補助金
99ドル以下	基本補助金額 × 80%
100~149ドル	基本補助金額 × 90%
150ドル以上	基本補助金額 × 100%

（ワロシエイト）総予算が50万円の場合、補助金計算例）

前年度年次基金寄付が...
99ドル以下 : (50万円×50%) × 80%=200,000円
100~149ドル : (50万円×50%) × 90%=225,000円
150ドル以上 : (50万円×50%) × 100%=250,000円

前年度の寄付実績が地区補助金の配分率に反映されます

2. 財団寄付の認証について

本
パネファクター

パネファクター \$1,000～ 認証状と襟ピン（ウィング）

パネファクターの認証は、恒久基金への寄付合計が\$1,000 に達した1回のみ贈られるものです。

2660地区では2019-20年度から、2回目以降の寄付者には地区よりピンが贈呈されます。



2. 財団寄付の認証について

ポール・ハリス・フェロー / マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



PHF	認証状と襟ピン
PHF +1	襟ピン (サファイア 1 粒)
PHF +2	襟ピン (サファイア 2 粒)
PHF +3	襟ピン (サファイア 3 粒)
PHF +4	襟ピン (サファイア 4 粒)
PHF +5	襟ピン (サファイア 5 粒)
PHF +6	襟ピン (ルビー 1 粒)
PHF +7	襟ピン (ルビー 2 粒)
PHF +8	襟ピン (ルビー 3 粒)

2. 財団寄付の認証について

メジャードナー / アーチ・クラフ・ソサエティ

ご寄付の分類にかかわらず累計額が1万ドル以上でメジャードナー、25万ドル以上でアーチ・クラフ・ソサエティの認証が個人またはご夫妻に対して贈られます。

MD レベル	\$
MD レベル 1	\$10,000~
MD レベル 2	\$25,000~
MD レベル 3	\$50,000~
MD レベル 4	\$100,000~
アーチ・クラフ・ソサエティ	\$250,000~

クリスタルと襟ピン/ペンダントトップ



2. 財団寄付の認証について

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、年次基金/ポリオプラスへ、一括もしくは合計で、毎年1,000ドル以上のご支援を累計下さる個人の認証です。

- 寄付例 (オンライン定期寄付が便利です！)
- ・年額内に少額にわけて寄付する
 - ・年に1回、\$1,000 一括にて
 - ・毎月\$84をクレジットカードにて



入会方法	概要
入会申込書	* PHS推進用パンフレットの入会申込書に記入
オンライン	* My ROTARYから 行動する⇒寄付者の認証⇒PHSメンバー⇒入会フォーム

3. 財団寄付の方法と優遇措置について

方法	概要
銀行振込	* 寄付分類を決める * 寄付送金明細書を記入する * 寄付金を「公益財団法人ロータリー日本財団」に振り込む
オンライン	* My ROTARYで手続き (クレジットカード決済) * 税制上の優遇措置を受けるために、手続き画面で国は日本、通貨は円を選択する

3. 財団寄付の方法と優遇措置について

公益財団法人 ロータリー日本財団 (2010.12.24)

- * ロータリー財団の協力団体
- * 「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、税制上の優遇措置の対象

「所得控除」または「税額控除」



確定申告用領収証の発送時期 (所属クラブ宛)
7~12月分 翌年1月末
1~6月分 同年7月末

4. ロータリー・クレジットカードについて

カード利用金額に応じて、ポリオ根絶の活動資金を支援できます。2000年にこのプログラムが開始されて以来、既に860万米ドルが財団に寄付され、そのうち5360万ドルがポリオ根絶活動に役立てられました。






ダイナースクラブ・コーポレートカード

- > クラブの預金口座を引落口座として指定することが出来る
- > 事前一般で高額利用が可能 (1,000万円未満は不要)
- > 年会費無料
- > ロータリークラブの運営に利用できる

- ・人頭分担金・世界大会 登録料
- ・例会会場費支払い・各都府会支払・その他

5. 本日のまとめ 財団寄付と目標額

寄付の分類	目標
 年次基金寄付	↑ 150ドル以上/会員一人あたり
 ポリオプラス基金寄付	↑ 50ドル以上/会員一人あたり
 恒久基金寄付	↑ 30ドル以上/会員一人あたり



ご清聴、有難うございました！

皆様からの財団寄付が、
地域社会や世界での奉仕活動を支える
財源となります！

今後ともロータリー財団への御理解と御協力を
お願い致します！



2024年4月20日
RI2660地区
地区研修・協議会



財団補助金の管理について

2024-25年度 地区財団委員会
資金管理小委員会
委員長 西垣 浩 (大阪フレンドRC)

資金管理の意義

財団補助金は、皆様から頂いた寄付金
(年次基金寄付・恒久基金寄付)を原資
とした、言わば、皆様からの「**浄財**」
といえます。



資金管理の意義

そのため、財団補助金の活用には、
一定の「**ルール**」に基づき行う必要があ
ります。



資金管理の意義

そのルールは、
「授与と受諾の条件」と
「財団補助金申請ハンドブック」
に定められています。



資金管理の意義

そのルールには、財団補助金の活用について

- 中間団体経由によるロス防止
- 特定の受益者に偏らないこと
- 情性化・既得化の防止
- 透明性を高めチェック可能に

などの目的があります。



資金管理の原則

原則① **ロータリー会員による直接調達**

- 中間団体経由によるロス防止のため
 - 調達コスト・物品選定の最適化が望める
 - 「協力団体にとって支援活動が容易になるもの」よりも、「**受益者自身が助かるもの**」を」



資金管理の原則

原則② 継続的支援の禁止

- 特定の受益者に偏らないこと
- 情性化・既得化の防止
 - **受益者の自立と持続的效果**
「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」

資金管理の原則

原則③ ルール順守・報告書提出

- 透明性を高めチェック可能に
 - ルールは、過去に発生したトラブルを回避するための積み重ね
 - 報告書作成は事業の振り返り・整理
(**自クラブでのノウハウの蓄積**)

地区補助金の活用における必要最低限のルール

- ① 補助金着金前に「補助金専用口座」の**残高を0円にする**
- ② **事業開始は補助金着金後にスタート**
- ③ 必ず「**補助金専用口座**」から直接、事業経費の振込（支払）を行う
- ④ **事業完了後は、「補助金専用口座」の残高を0円とする**

地区補助金の活用における必要最低限のルール

- ⑤ **受益者の対象・人数を明確に特定**
- ⑥ 報告書の収入支出欄と通帳・領収書との整合性を担保するために**対応番号を付与**
- ⑦ 事業費用明細の添付（**支出内容の明確化**）
- ⑧ 補助金着金から**6ヵ月経過**した場合には、**中間報告書**を提出（通帳のコピーを添付）

地区補助金の活用における必要最低限のルール

- ⑨ 見積（請求書）や領収書の宛先は、申請クラブ宛、かつ、その発行者は**購入業者であること（受益者や協力団体が発行する領収書等は不可）**
- ⑩ 受益者への**現金渡し禁止**
（ロータリー会員が物品調達）

地区補助金の活用における必要最低限のルール

- ⑪ 協力団体の**運営費支援の禁止**
（既存のイベント支援も含む）
- ⑫ 過大な講師費用の**禁止**
- ⑬ やむを得ない理由等でロータリー会員の企業から商品等を購入する場合は、その理由を申請書に記載（場合により相見積書の添付）⇒**利害の対立の回避と可能性の開示**

地区補助金の活用における必要最低限のルール

- ④ 受益者の同意が書面でない限り、**個人データ**（氏名・年齢・生年月日など個人が特定されうる情報）または**受益者の写真**は添付しない
（国際ロータリーの広報ルール）

皆様へのお願い

「授与と受託の条件」

と

「財団補助金申請ハンドブック」



ぜひとも、**バイブル**として活用をお願いします！

【授与と受託の条件】

2023年3月版が最新版

【財団補助金申請ハンドブック】

2024年1月版が最新版


※ 授与と受託の条件は、
・地区補助金用
・グローバル補助金用
の2冊が実行されています。

ご静聴ありがとうございました。

2024-25年度のための地区研修・協議会
第2部：部門別協議会「ロータリー財団部門」


財団奨学金プログラム

2024-25年度
地区ロータリー財団委員会
奨学金小委員会委員長
渡邊 徹（次郎東RC）




本日の発表内容

1. ロータリー財団の奨学金プログラムについて
2. グローバル奨学金について
3. 平和フェロেশippについて
4. 2660地区の奨学金プログラムの取組実績について



1. ロータリー財団奨学金プログラム

奨学金プログラム	地区補助金	グローバル補助金	平和フェロেশipp
地区管轄委員会	補助金小委員会	奨学金小委員会	平和フェロেশipp小委員会
奨学金採与額	20~60万円 ※申請クラブは同額以上の拠出金必要	30,000ドル以上 ※スポンサークラブは拠出金不要(当地区方針)	修士号取得:100,600ドル(±5%) 専門能力開発:11,400ドル(向上) ※TRF(ロータリー財団)から全額支給
資金調達先	地区補助金 (OG)	地区財団活動資金(DDF) 国際財団活動資金(WF) ※WFはDDF80%以上乗せ	国際財団活動資金(WF)



7 重点分野

- ・ 母子の健康
- ・ 基本的教育と識字率向上
- ・ 地域社会の経済発展
- ・ 疾病予防と治療
- ・ 平和構築と紛争予防
- ・ 水と衛生
- ・ 環境


ロータリー財団の補助金プロジェクトはこの7重点分野に沿ったものであることが必須



2. グローバル(補助金)奨学金について

- ・ 応募資格 ①応募資格は当地区内に在住・在学・在職または本籍(日本国籍か永住権)があること、②修士号を保有していること、③海外大学院への留学が目的で7重点分野のいずれかに該当する文書を専攻すること
- ・ 奨学金の授与期間は1年間
- ・ 授与条件として、他地区・他団体の奨学金と同時授与は不可(当地区方針)
- ・ 支給対象は、入学金・授業料・滞在費・運搬費等全額
- ・ スポンサークラブとホストクラブ(留学先)が代表奨励クラブとなって申請
- ・ 事業実施期間は、申請年と派遣年の2年間
- ・ 申請年度のガバナーと派遣年度のガバナーのコンセンサスが必要

※ロータリアンと互換資格、クラブ・地区の職員は応募不可
※代表奨励者1名と副代表奨励者2名が申請時に必須




奨学生候補者の選考方法

次年度選考
応募期間：2024年9月1日~10月31日(8月中旬以降に地区HPに募集要項掲載)
最終選考日：11月中旬(応募者多数の場合、先に募集要項掲載)

選考者：ガバナー、ガバナーエレメント、各代表幹事、地区ロータリー財団委員長、地区ロータリー財団各小委員長、奨学金小委員会委員

選考条件

1. 留学先の大学院の入学許可証を入事できること。
2. 授業についていける語学力があること。
3. 大学院での専攻も兼ねる7重点分野でキャリアを築くことを目標としていること。
4. 卒業後も地区ロータリー相互として地区やスポンサークラブと関係が継続できること。



3. 平和フェロেশippについて

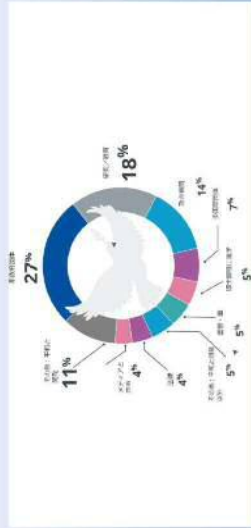
- ・ロータリー財団が直接授与する平和と開発について学が奨学金プログラム
- ・ビジョン：平和活動家とリーダーのネットワークを通じた、持続可能な平和の構築
- ・入学金・授業料・滞在費・渡航費など全額支給
- ・修士号取得プログラム(15.2.4ヶ月)と専門能力開発修了証プログラム(約1年)から選択
- ・毎年最大130名(修士号50名まで、専門能力開発は80名まで)が世界選抜地区(クラブ)でフェロー候補者を募集、地区にて候補者の申請支援とロータリー財団への推薦を実施
- ・ロータリー平和センター提携大学への留学(8大学と提携7箇所の平和C)



ロータリー平和センターロケーション



ロータリー平和センター卒業生の進路



フェロー候補者の選考方法

次年度選考(2024-25年度派遣)
 応募期間：オンライン申請締切2024年5月15日(7月1日地区推薦締切)
 合否結果：11月に地区と候補者に通知

申請資格

1. 英語に堪能であること
 2. 修士号を所持し新しい学位取得プログラム(修士課程または大学院)の修了からフェロেশippの開始予定日までの間に、最低3年間の期間が空いていること
 3. 個人的活動や社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の実績を通して、国際理解と平和への寄与を貢献していること
 4. 平和あるいは世界の分野において少なくとも3年間の経験を有していること(修士号)
 5. 5年のフルタイムの経験を有していること(専門能力開発)
- リーダーシップの素質を有していること(修士号)
 スキルを駆使していること(専門能力開発)

4. 2660地区の奨学金プログラムの取組実績について

国際ロータリー第2660地区グローバル奨学金学生・平和フェロー奨学金リスト

年度	人数	国別	地域
2019-20	10	10	アジア
2020-21	10	10	アジア
2021-22	10	10	アジア
2022-23	10	10	アジア
2023-24	10	10	アジア
2024-25	10	10	アジア



奨学金小委員会からのお願い

- ・自クラブにロータリーの奨学金や平和フェロেশippの問い合わせがあった場合、奨学金小委員会までご連絡願います(ガバナー事務所内)
- ・2024-25年度グローバル奨学金候補者(25-26年度派遣)のスポンサークラブを自クラブで検討していませんか?



ご静聴ありがとうございました。

